

◆第1章

[問題1-1]

(1) ① _____ ② _____

(2) _____

[問題1-2]

(1) ① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____

(2)

[問題1-3]

(1) _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

[問題1-4]

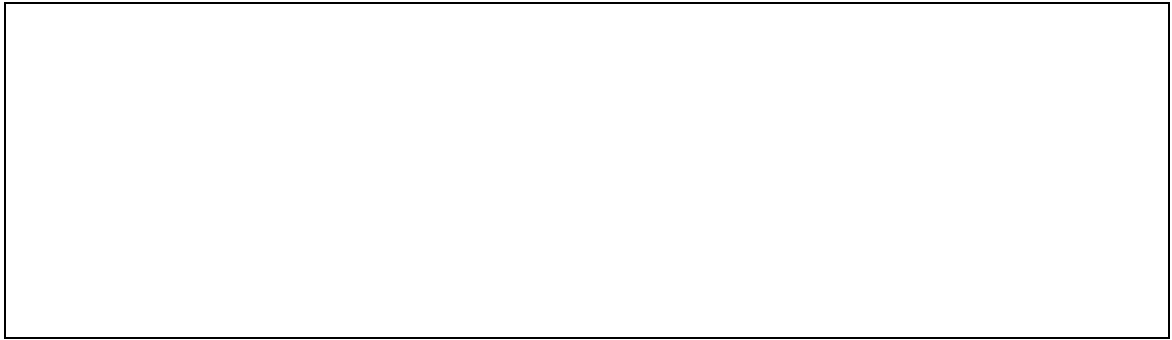
① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____

⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____ ⑩ _____ ⑪ _____ ⑫ _____

[問題1-5]

(1) _____

(2) _____



◆第2章

[問題2-1]

- (1) 資 産 ()
- (2) 負 債 ()
- (3) 資 本 ()
- (4) 収 益 ()
- (5) 費 用 ()

[問題2-2]

期首資本 (¥) , 期末資本 (¥)
 当期純 () (¥)

[問題2-3]

貸借対照表

() 株式会社 ×年 () 月 () 日 (単位:円)

資 産	金 額	負債および資本(純資産)	金 額

[問題2-4]

- (1) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____
- (2) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____
- (3) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____

◆第3章

[問題3-1]

[問題3-2]

- (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
(5) _____

[問題3-3]

売掛金	資本金
() ()	() ()
備品	建物
() ()	() ()
借入金	買掛金
() ()	() ()
給料	支払家賃
() ()	() ()
商品売買益	受取手数料
() ()	() ()
水道光熱費	受取利息
() ()	() ()

[問題3-4]

現金	当座預金
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

売掛金

--

借入金

--

商品売買益

--

商品

--

資本金

--

支払家賃

--

◆第4章

[問題4-1]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/5				
8				
10				
15				
23				
31				

現金		売掛金	
商品		備品	
資本金		商品売買益	
給料			

[問題4-2]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/1				

2				
3				
8				
11				
20				
25				
31				

[問題 4 - 3]

現 金

売 掛 金

--	--

貸 付 金

--	--

商 品

--	--

備 品

--	--

建 物

--	--

買 掛 金

--	--

資 本 金

--	--

商品売買益

--	--

受 取 利 息

--	--

給 料

--	--

買 掛 金

4

--	--	--	--	--	--	--	--	--

資 本 金

5

--	--	--	--	--	--	--	--	--

商 品 売 買 益

6

--	--	--	--	--	--	--	--	--

広 告 宣 伝 費

7

--	--	--	--	--	--	--	--	--

水 道 光 熱 費

8

--	--	--	--	--	--	--	--	--

[問題5-4]

仕 訳 帳

3

×年	摘要	元丁	借方	貸方
	前ページ繰越	✓	15,000	15,000
6	1 (現金)	1	2,500	
	(資本金)	6		2,500
	2 ()	()	1,000	
	(現金)	1		1,000
	5 (商品)	3	500	
	(買掛金)	5	()	500
	14 (商品)	()	()	
	()	()		500
	15 (商品) 諸口	3	1,500	
	(現金)	1		()
	()	()		1,000
	20 (売掛金) 諸口	2	1,000	
	(商品)	()		800
	()	()		()
	25 (給料)	9	()	
	()	()		100
	30 (現金) 諸口	1	1,050	
	(貸付金)	()		()
	()	()		50

総勘定元帳

現 金

1

×年	摘要	仕丁	借方	×年	摘要	仕丁	貸方
6	1 資本金	3	2,500	6	2 貸付金	3	1,000
	30 ()	()	()		14 ()	()	500
					15 ()	()	500
					25 ()	()	100

売掛金

2

6	20	()	()	()					
---	----	-----	-----	-----	--	--	--	--	--

商品

3

6	5	買掛金	3	500	6	20	()	()	()
	14	()	()	500					
	15	()	()	()					

貸付金

4

6	2	()	()	1,000	6	30	()	()	1,000
---	---	-----	-----	-------	---	----	-----	-----	-------

買掛金

5

					6	5	商品	3	500
						15	()	()	1,000

資本金

6

					6	1	現金	3	2,500
--	--	--	--	--	---	---	----	---	-------

商品売買益

7

					6	20	()	()	200
--	--	--	--	--	---	----	-----	-----	-----

受取利息

8

					6	30	()	()	50
--	--	--	--	--	---	----	-----	-----	----

給料

9

6	25	()	()	100					
---	----	-----	-----	-----	--	--	--	--	--

◆第6章

[問題6-1]

合 計 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	備 品	
	5	借 入 金	
	6	資 本 金	
	7	繰 越 利 益 剰 余 金	
	8	商 品 売 買 益	
	9	受 取 手 数 料	
	10	広 告 宣 伝 費	
	11	支 払 利 息	

[問題6-2]

残 高 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	建 物	
	5	備 品	
	6	買 掛 金	
	7	借 入 金	
	8	資 本 金	
	9	繰 越 利 益 剰 余 金	
	10	商 品 売 買 益	
	11	受 取 手 数 料	
	12	給 料	
	13	広 告 宣 伝 費	
	14	支 払 利 息	
	15	雑 損	

[問題6-3]

合計残高試算表

借方		元丁	勘定科目	貸方	
残高	合計			合計	残高
		1	現金		
		2	売掛金		
		3	商品		
		4	貸付金		
		5	建物		
		6	備品		
		7	土地		
		8	買掛金		
		9	借入金		
		10	資本金		
		11	繰越利益剰余金		
		12	商品売買益		
		13	受取手数料		
		14	受取利息		
		15	給料		
		16	広告宣伝費		
		17	水道光熱費		
		18	支払利息		
		19	雑損		

[問題6-6]

(1)

合 計 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	貸 付 金	
	5	建 物	
	6	備 品	
	7	土 地	
	8	買 掛 金	
	9	借 入 金	
	10	資 本 金	
	11	繰 越 利 益 剰 余 金	
	12	商 品 売 買 益	
	13	受 取 手 数 料	
	14	受 取 利 息	
	15	給 料	
	16	広 告 宣 伝 費	
	17	水 道 光 熱 費	
	18	支 払 利 息	
	19	雑 損	

(2)

精 算 表

勘定科目	元丁	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
		借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1						
売掛金	2						
商品	3						
貸付金	4						
建物	5						
備品	6						
土地	7						
買掛金	8						
借入金	9						
資本金	10						
繰越利益剰余金	11						
商品売買益	12						
受取手数料	13						
受取利息	14						
給料	15						
広告宣伝費	16						
水道光熱費	17						
支払利息	18						
雑損	19						
当期純()							

◆第7章

[問題7-1]

社会的制度としての会計は、基本的に期間（ ）計算の職能を担っている。それは、通常1ヵ年の（ ）期間（事業年度ともいう）ごとに行われる。そこで、事業年度の終わりに、諸帳簿の記録を整理して締め切り、（ ）や（ ）などの財務諸表を作成するとともに、次の事業年度への帳簿記録の引き継ぎを行うことを、決算という。決算の基準日となる会計期間の終了日を決算日または（ ）日という。決算日は（ ）または単に（ ）、あるいは事業年度末または単に年度末ともよばれる。

決算は次のような手順で実施される。

- (1) 決算予備手続：（ ）を作成し、（ ）の正否を検算する。
- (2) 決算本手続：主に（ ）を締め切ることから構成され、次のような順序で実施される。
 - ①（ ）・（ ）に属する勘定の残高を損益勘定に振り替え、それらに属する勘定口座を締め切る。
 - ② 損益勘定の残高として、当期（ ）または当期（ ）を求め、それを（ ）勘定に振り替える。同時に、損益勘定を締め切る。
 - ③（ ）・（ ）・（ ）に属する勘定の残高を次期に繰り越し、それらに属する勘定口座を締め切るとともに、次期の開始記入を行う。
 - ④ 資産・負債・資本に属する勘定の繰越記入の正否を検算するため、（ ）を作成する。
 - ⑤ 損益勘定の記録内容から（ ）を、また、繰越試算表の記録内容から（ ）を作成する。

このような取引の認識から記帳、決算までの一連の手続の流れを（ ）の手続とよぶ。

(4)

現 金		1	
5/1	200	5/3	30
7	50	11	70
24	30	18	60
		25	7
		30	3

商 品		3	
5/5	200	5/7	40
11	70	14	45

資本金		6	
		5/1	200

繰越利益剰余金		7	

商品売買益		8	
		5/17	10
		14	15

売 掛 金		2	
5/14	60	5/24	30

備 品		4	
5/3	30		

買 掛 金		5	
5/18	60	5/5	200

給 料		9	
5/25	7		

支払家賃		10	
5/30	3		

損 益		11	

